


## 安全データシート

改訂日:2022年8月8日

1. 製品及び会社情報	
製品名	炭酸銅(II)塩基性
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	AD0871
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康に対する有害性	急性毒性(経口):区分4
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害
注意書き	【安全対策】 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 【応急措置】 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 【保管】 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	炭酸銅(II)塩基性
別名	塩基性炭酸銅(II)
化学式	approx. CuCO <sub>3</sub> ·Cu(OH) <sub>2</sub> ·H <sub>2</sub> O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 12069-69-1
成分及び含有量	炭酸銅(II)塩基性 100% (Cuとして測定した含量約56%のもの)
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-130
その他	HSコード: 2836.99
4. 応急措置	
吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 環境中に放出してはならない。
環境に対する注意事項	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

### 安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

10項に示す混触危険物質との接触を回避する。

取扱い後はよく手を洗うこと。

### 接触回避

### 衛生対策

### 保管

安全な保管条件

毒物劇物取締法に従うこと。

容器を密閉して換気の良い涼しい場所で保管すること。

施錠して保管すること。

ポリプロピレン、ポリエチレン

安全な容器包装材料

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度

日本産衛学会

ACGIH

未設定

未設定

TWA 0.2mg/m<sup>3</sup> (Copper fume)

TWA 1mg/m<sup>3</sup> (Copper dusts and mists, as Cu)

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。

ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

設備対策

### 保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

粉末

色

緑色

臭い

該当情報なし。

融点/凝固点

該当情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

該当情報なし。

燃焼性

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

不燃性

引火点

不燃性

自然発火温度

不燃性

分解温度

200~220°Cで分解

pH

該当情報なし。

動粘性率(粘度)

該当情報なし。

溶解度

水に不溶、酸に可溶。

n-オクタノール/水分配係数

log Pow = -2.76 (推定値)

蒸気圧

8.69E-9mmHg (25°C) (推定値)

密度及び/又は相対密度

該当情報なし。

相対ガス密度

該当情報なし。

蒸発速度

該当情報なし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の手扱いにて安定。

危険有害反応可能性

酸、酸化剤と反応する。

避けるべき条件

加熱、高温多湿、光、混触危険物質との接触

混触危険物質

酸、酸化剤

危険有害な分解生成物

酸化銅

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口 : 雌雄ラットを用いた経口投与試験のLD50値1495mg/kg, 1350mg/kg(EHC 200, 1998)に基づき区分4とした。

該当情報なし。(分類できない)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし。なお、銅粉じんは眼刺激性を示すことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は刺激性

呼吸器: 該当情報なし。(分類できない)

呼吸器感受性又は皮膚感受性

皮膚 : 該当情報なし。(分類できない)

生殖細胞変異原性

該当情報なし。(分類できない)

発がん性

該当情報なし。(分類できない)

生殖毒性

該当情報なし。(分類できない)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

該当情報なし。(分類できない) なお、ATSDR(draft, 2004)には銅粉じんのばく露は気道を刺激するとの記載がある。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

該当情報なし。(分類できない)

誤えん有害性

該当情報なし。(分類できない)

## 12. 環境影響情報

生態毒性

短期:  
(急性) 該当情報なし。(分類できない)長期:  
(慢性) 該当情報なし。(分類できない)

残留性・分解性

該当情報なし。

生体蓄積性

該当情報なし。

土壌中の移動性

該当情報なし。

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS  
分類:分類できない)

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上  
望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号

3288

品名(国連輸送名)

毒性固体(無機物)n.o.s

国連分類

クラス6.1

容器等級

III

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がな  
いよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

151

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

劇物(第2条・指定令第2条)[無機銅塩類]

消防法

危険物に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行  
令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[銅及びその化合物]  
危険性又は有害性を調査すべき物[銅及びその化合物]

船舶安全法

毒物類・毒物(危規則第2条危険物告示別表)

港則法

毒物類・毒物(施行規則第12条危険物の種類を定める告示別表)

航空法

毒物類・毒物(施行規則第194条)

## 16. その他の情報

参考文献

職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

16615の化学商品(化学工業日報社)

主要化学物質の法規制一覧表(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではあり  
ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ  
等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではあり  
ませんので取り扱いには十分注意して下さい。